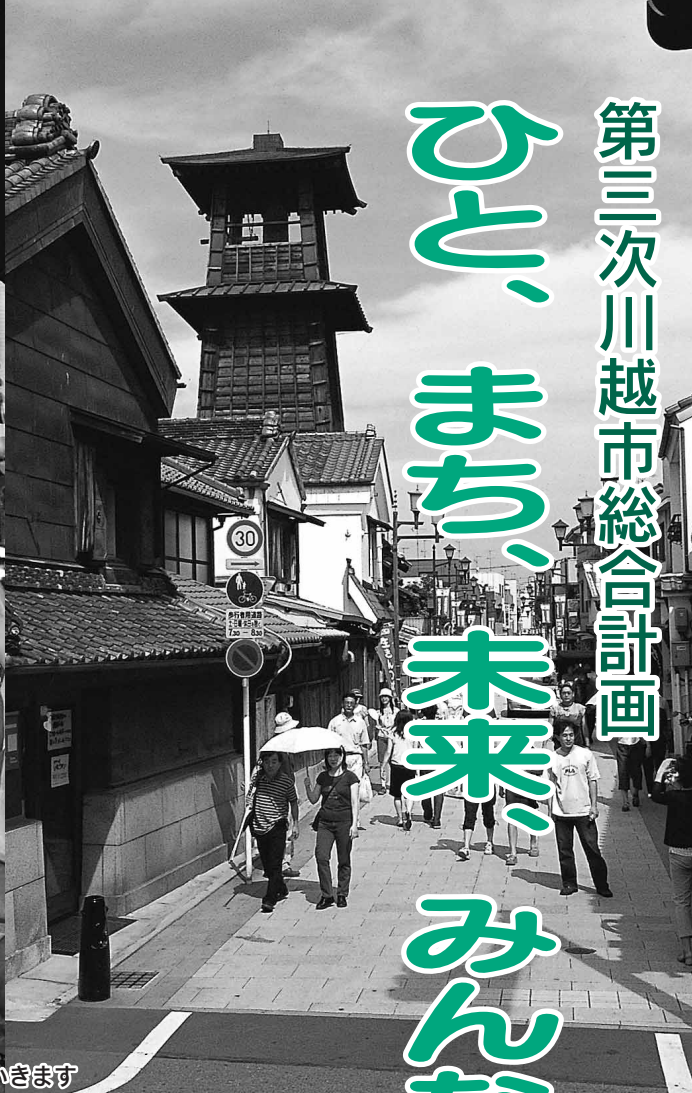


第三次川越市総合計画

ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越



第三次川越市総合計画は、活気と魅力にあふれる川越を目指していきます

これからのまちづくりの指針となる第三次川越市総合計画が、ことし四月にスタートします。この記事では、第三次川越市総合計画の概要について紹介します。

なお、分野別の内容については順次、広報川越で紹介していきます。
問い合わせ：政策企画課政策担当・TEL内線2112

総合計画とは

総合計画は、これからの川越のまちづくりを進める指針であり、本市全体にかかわる総合的な計画です。

第三次川越市総合計画では、来年度以降十年間で進めていくまちづくりに関する方策を定めています。

総合計画の構成・期間

第三次川越市総合計画は、三層で構成されます。まちづくりの基本的な考え方などを示す「基本構想」、基本構想に基づき施策を体系的に示す「基本計画」、基本計画に基づき施策の実施方法などを示す「実施計画」から成り立っています。それぞれの期間は、下の構成図のとおりです。

総合計画の構成図



本市を取り巻く社会環境

本市が今後展開する施策などに影響を与える社会環境としては、次ページの表にある六つの変化があげられます。

本市を取り巻く社会環境

- ① 急激な少子高齢化と人口減少
- ② 持続可能な社会への新たな展開
- ③ 経済の長期的な低迷から再生へ
- ④ 求められている安全・安心な暮らし
- ⑤ 急激なIT社会の進展
- ⑥ 地方分権の進展と行財政改革

① 急激な少子高齢化と人口減少
急激な少子高齢化は、人口の総数だけではなく、乳幼児から高齢者までの人口構成にも大きな変化をもたらします。このため、少子化対策や保健・医療・福祉サービスの充実が必要です。

② 持続可能な社会への新たな展開
今日の環境問題は幅広く、かつ深刻になっていきます。ごみ処理から地球温暖化までの課題に対応し、地球環境の保全に向けた取り組みをさらに進めていくには、日常生活や地域社会において、市民の皆さんひとりひとりの環境に配慮した行動が求められています。

③ 経済の長期的な低迷から再生へ
日本経済全体としては、民間需要を中心とした緩やかな回復が見られる一方で、地域間の回復力にはばらつきが見られます。

地域経済が新たな成長基盤を確立するためには、地域の特性を生かした創造的かつ積極的な取り組みが求められています。

④ 求められている安全・安心な暮らし
犯罪発生が増加傾向に伴う厳しい治安情勢、地震や台風などの自然災害への不安などがあります。

市民の皆さんが安心して暮らせる環境を作るためには、行政の取り組みはもとより、市民の皆さんひとりひとりが協力し合える地域社会を作ることが求められています。

⑤ 急激なIT社会の進展
全国のインターネット世帯普及率が八割を超えるなど、情報通信ネットワークが大きく進展しました。

今後は、IT（情報通信技術）を社会や経済のあらゆる場面に効果的に活用するとともに、情報の不正使用や漏えいなどの問題にも対応していく社会を築いていくことが、本市にも求められています。

⑥ 地方分権の進展と行財政改革

平成十二年の「地方分権一括法」の施行により、地方自治体の自主性・自立性が高められました。また、本市は同十五年に中核市へ移行し、福祉・保健衛生・環境・都市計画など、自治体としての行政基盤の強化に努めてきました。

今後、社会構造の転換に対応するとともに、厳しい財政状況にも対応するためには、簡素で効率的な行財政運営システムの構築が求められています。

基本構想の理念

基本構想の理念は、市民の皆さんと行政が、共にまちづくりを進めていくための基本的な考え方です。

第三次川越市総合計画の基本構想は、「川越市民憲章」の考え方を尊重するとともに、本市を取り巻く社会環境の変化を踏まえて定めています。

将来都市像

基本構想の理念に基づき、本市が目指すべき十年後の姿として、将来都市像を定めています。

第三次川越市総合計画の将来都市像は、「ひと、まち、未来、みんなであつくる いきいき川越」です。「ひと」は市民の皆さんを、「まち」は川越市全体を表しています。

市民の皆さんが生き生きと暮らし、市全体が活気と魅力にあふれる川越を、市民の皆さんと行政がいっしょに築いていきます。

基本目標と方向性

将来都市像を実現するため、すべての行政分野に共通する基本目標を定めるとともに、分野別に六つの基本目標を定めています。

行政分野に共通する基本目標「協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進」

地域における保健福祉・環境・防

災・防犯などのさまざまな問題を解決していくためには、市民・自治会やNPOなどの民間団体・企業や大学などの事業者・行政がそれぞれの役割と能力に応じて、いっしょに取り組むことが求められます。

このような取り組みを「協働」といいます。市民の皆さんとの情報の共有化、市政への参画、民間団体や事業者との連携を通じて、川越らしいまちを「協働」により築くことを目指します。

この基本目標は、厳しい財政状況の下で多様化する皆さんからの要望に応じていくために、行財政改革を推進し簡素で効率的な行財政運営に取り組んでいこうとするものです。

分野別には、六つの基本目標を掲げています。

① **ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち**

ち・保健・医療・福祉
生き生きと活力のあるまちを築くためには、そこに暮らす市民の皆さんが健康で安心して生活を送れることが重要です。このため、地域の各種団体と協働し、助け合いによる地域福祉体制を充実していきます。

次代を担う子どもたちが健やかに成長できるように、地域全体で子育て支援に努めていきます。また、高齢者や障害者のある方が地域において、安心して生活できるように、在宅サービスの充実などを図っていきます。